

一般入試前期A日程1日目

国語

一

出典 久野愛「視覚化する味覚」(岩波書店 2021年)

20世紀初期のアメリカで行われていたオレンジの着色方法、それに関わる人々がどのように反応したかということについて述べた文章です。文章自体は平易です。

問1【漢字の書き取りの問題】(解答番号は①～⑦)

a 附着、b 洗淨、c 浸、d 違法、e 塗布、f 憶測、g 懸念、がそれぞれ正答です。fが難しかったようです。漢字の勉強は、日頃の心がけ次第で勉強できます。継続した学びが必要です。全問正答率は4%でした。

問2【空欄補充・文脈を押さえる問題】(解答番号は⑧)

空欄 **ア** の直後にはフロリダ農家が憂慮する内容(農業経済局局長の発言内容)が記されています。これがヒントです。正答は①、正答率は93%でした。

問3【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】(解答番号は⑨)

空欄 **イ** は、その後にある「つまり着色料は使用するべきではない」を言い換えた⑤が正答です。正答率は98%でした。

問4【空欄補充・文脈を押さえる問題】(解答番号は⑩)

空欄 **ウ** は、最後の一文がヒントです。正答は②です。正答率は86%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑪)

傍線部Aはフロリダ農家のことについて述べたものです。このことと傍線部A以後の内容を押さえる必要があります。正答は①です。解答を②とした受験生もいましたが、②は「消費者からの苦情が多く」というのが間違いです。正答率は81%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑫)

傍線部Bの直前内容がヒントです。正答は⑤です。①は「アメリカ食品医薬品局の副長官」が間違いです。正答率は91%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑬)

傍線部Cを含む段落と次の段落までが「議論」の内容です。正答は②で、正答率は74%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑭)

傍線部Dを含む段落をまとめる必要があります。正答は⑥です。⑤を選択した受験生が目立ちましたが、⑤は「結果的に」とある点が間違いです。正答率は52%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】(解答番号は⑮)

傍線部Dの直後から選択肢を丁寧に見れば、正答が④しかないことがわかります。正答率は52%でした。

問10【内容を理解して小見出しを選択する問題】(解答番号は⑯)

本文ではオレンジの着色をどのように行うかということについて述べています。また「人工的」「自然」といったキーワードが丁寧にカギ括弧で囲まれています。これを押さえることができれば正答

は⑤になります。正答率は91%でした。

問11【内容合致問題】（解答番号は17）

正答は②と⑥です。選択肢の間違ってしている箇所の例を示せば以下のようになります。①「1923年の時点」、③「味覚的にも」、④「政府はこの方法を禁止することになった」、⑤「カリフォルニアでフロリダのオレンジ着色に一定の理解がなされた」、⑦「出荷時期を調整している」、⑧「レモンの味やジューシーさなど」、以上が間違いの箇所の例です。完全正答率は39%でした。



出典 片山杜秀「ベートーヴェンを聴けば世界史がわかる」（文藝春秋 2018年）

クラシック音楽も流行歌と同じく社会や経済と深いつながりがあることを説いた本です。論旨は明快であり、平易に書かれている文章ですので、文意を掴むのは難しくありません。

問1【漢字の書き取りの問題】（解答番号は18～22）

a 高尚、b 遺跡、c 鑑賞、d 賓客、e 駐屯、が正答です。全問正答者は1%でした。cを「観賞」と書く誤答が目立ちましたが、芸術作品に関してですから「鑑賞」が正答となります。

問2【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ問題】（解答番号は23・24）

空欄Ⅰはすぐ後の「台頭してきた『市民階級』」が、空欄Ⅱはその3行前からの説明がヒントになります。正答はⅠが⑨、Ⅱが⑧で、正答率はそれぞれ49%、47%でした。Ⅱでは④の「民衆の祭典」を選ぶ誤答が多かったですが、直前にある「宮廷」という言葉を踏まえれば正答にはなりません。

問3【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ問題】（解答番号は25）

2行前の「こうした条件から常に生まれる」をヒントとして正答の⑦が導けます。①、③を選ぶ誤答がそれぞれ全体の30%、26%ありましたが、①の「政治的制約」は本文の内容に合っておらず、③は筆者の言わんとすることとむしろ正反対の内容です。正答率は10%でした。

問4【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は26）

直前の「浮世離れした」から正答は⑤だと容易にわかるでしょう。正答率は79%でした。

問5【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は27）

直前の文を踏まえれば簡単に正答にたどりつけます。正答は③で、正答率は77%でした。

問6【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は28）

傍線部Cが含まれる段落に続く4つの段落をよく読み、内容を的確に掴みさえすれば、正答が④であるとわかります。正答率は68%でした。

問7【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は29）

傍線部Dの直前にある2つの段落の内容を理解しさえすれば、正答は⑥だとわかるはずです。正答率は81%でした。

問8【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **30**）

傍線部Eが含まれる段落を丹念に読めば、正答が①だと気づけるでしょう。⑤を選ぶ誤答が全体の29%ありましたが、「必ずスポンサーと合意する必要がある」が誤りです。正答率は44%でした。

問9【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **31**）

傍線部Fの直前の段落をしっかりと読めば、容易に正答できるはずです。正答は⑤であり、正答率は59%でした。

問10【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **32**）

傍線部Gが含まれる段落の直前にある3つの段落の内容を十分に把握すれば、正答は②だと導き出せるはずです。全受験生の41%が①を選んでいましたが、「作曲家の意に添うように揃えることができない」とが本文の内容に合っておらず誤りです。正答率は31%でした。

問11【文脈把握と内容理解に関する問題】（解答番号は **33**）

傍線部Hが含まれる段落の直後にある段落に正答を導くヒントがあります。正答は⑥であり、正答率は54%でした。

問12【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は **34**）

正答は⑦で、正答率は62%でした。筆者は音楽が文学や美術と異なることを強調し、傍線部Dの直後で「音楽は演奏され、誰かが聴いてくれることで成立する芸術」と述べています。ここを確実に押さえさえすれば、正答するのは容易です。

問13【内容を理解して小見出しを選択する問題】（解答番号は **35**）

この節の3～4行目で筆者は「音楽とは生身の人間が演奏し、実際にその場所にいる人しか聴くことのできないものだったことを忘れてはなりません」と強調しており、これが正答を導くヒントです。全受験生の48%が誤答の⑦を選んでいましたが、「条件」も「制約」も同じような意味であり、「条件の制約」では意味をなしません。正答は②で、正答率は19%でした。

問14【内容合致問題】（解答番号は **36**）

正答は⑦と⑧で、完全正答率は16%でした。⑦は本文13頁の後ろから6行目以降に、⑧は13頁の5～8行目に書かれている内容です。②を選んだ受験生が全体の36%いましたが、本文では「インターネットやCD、レコードなどの録音媒体によるものがむしろ大多数」と書かれており、②の「CDやレコードなどの録音媒体ではなく」は本文の内容に合致しません。